

KENKO

NOW

特別編

メニュー開発担当者に聞きました! 女性社員座談会

仕事に、子育てに全力投球の
ワーキングマザーの3人に、忙しくも
充実した日常を語ってもらいました。



子育て世代でも 働きやすい環境・制度が充実

—— まずは皆さんの所属するメニュー開発担当部署での
仕事内容を教えてください。

浜岡 世の中に広くサラダ料理を知っていただくため、
料理教室の講師のほか、Webサイトに掲載するメニュー
の開発やメニューの撮影に関わる業務を担当しています。

佐藤 今日は料理教室、今日は撮影準備、今日は事務
処理など、状況に応じてやるべきことが変わるので、毎
日あわただしいけれど、刺激も多いですね。

浜岡優子

プロフィール▶
前職にて弁当や寿司
メニューの開発を経験
し、2003年ケンコー
マヨネーズ入社。
小学校4年長女、2歳
長男の子育て中。
商品技術本部/課長職

加藤 しかも、自分の意見を出しやすく、新しい提案を
受け入れてもらいやすい会社なので、仕事の幅もどんど
ん広がっています。



料理教室の様子

—— 皆さん、現在子育て真っ最中ということですが、
産休・育休から復帰後、仕事との両立はどうですか。

浜岡 私は3人の中で1番初めに育児休業を取得しまし
たが、周囲のサポートもあり、問題なく職場復帰できまし
たね。

加藤 それに続くように私たちも産休・育休を取得しまし
たが、仕事と子育ての両立に職場の理解を得られており、
育休中も職場復帰にあまり不安なく、育児に専念する
ことができました。

浜岡 自分も子育て中なので、保育園を探す苦労や戻り
たいという気持ちが手に取るようにわかりました。時短
勤務が小学校4年生の年度末まで延長できるなど、会社
の制度も年々充実してきました。これからの社会では、
それぞれのライフステージに合わせて、多様な働き方を
実現する「ワーク・ライフ・バランス」の推進は課題となっ
てきます。当社でも、これからさらに子育てと仕事を
両立する社員が増えてくると思います。

—— 両立支援の制度としては、ほかにどのようなもの
があるのでしょうか。

浜岡 たとえば認可外保育園へ入園した場合も手当が
支給されます。あとは看護休暇ですね。子供の看病や
通院のために有給で年10日程度の休みが取れます。

佐藤 子供がインフルエンザなどにかかると、1週間くら
い休まざるを得ませんから、有給休暇とは別に看護休暇
をもらえるのはとても助かります。

佐藤真弓

プロフィール▶
事務職から2007年
ケンコーマヨネーズ入社。
管理栄養士の資格を
保有。小学校2年長女
の子育て中。
同部署/係長職

—— 時短勤務によって意識は変わりましたか?

加藤 時間に限りがあるので、効率優先です。メニュー
の試作も1度で完璧にできるように、集中して取り組ん
でいます。

佐藤 頭の回転が良い午前中に考える仕事を入れるなど、
効率的に仕事が進むように工夫しています。

—— 仕事を円滑に進める上で心掛けていることは?

浜岡 間違いがあってはいけない仕事なので、仕事の
内容や進捗はしっかり管理していきたいと思っています。

加藤由香

プロフィール▶
製菓学校を卒業後、パン屋
にて製造・メニュー開発を
担当。2006年ケンコー
マヨネーズ入社。小学校3年
長男、小学校1年長女の子
育て中。
同部署/係長職



突発事項が起こってもすぐにフォローできるように、メン
バーの状況を把握することが一番大切だと考えています。
だから普段の会話のなかでも、仕事のこと、子供のこと
など、お互いにいろいろな話をしています。

—— 子供ができて変化したことはありますか。

浜岡 メニューの幅が広がったように思います。子供が
どんなものを喜ぶか、料理教室でもお弁当メニューを
提案して参加者の皆様からもご好評をいただきました。

加藤 生活にメリハリがつかえました。ダラダラ仕事するの
ではなく集中して働く。でも家に帰れば、100%子供に
向き合える。仕事の時間は短くても、むしろ以前より
充実している気がします。

佐藤 良い意味で、欲張りになりました。子供と離れて
寂しい分だけ、その時間をより充実させたい。いろい
ろな仕事に挑戦したいし、勉強もしたい。何でもやりたい
という気持ちが強くなりました。

—— 最後に、今後の抱負を教えてください。

佐藤 管理栄養士として、サラダ料理を通じて食や栄養
のことをわかりやすく皆さんに伝えていきたいと思ってい
ます。子供に胸を張れる仕事をし続けることが目標です。

加藤 一番の目標は料理教室をさらに発展させていくこ
とです。もともとパンが好きで食の世界に入ったので、
もっと勉強して様々な提案をしていきたいですね。

浜岡 いろいろな部署からヒントをもらって、そこから
アイデアをふくらませていくことが私たちの仕事だと思
います。お客様に満足いただける提案の1つとなるように
これからも新しいことにどんどん挑戦していきたいと思っ
ています。